

第69回

日本PTA全国研究大会

第66回日本PTA九州ブロック研究大会

北九州大会

「じりつ、創造、尊重、調和、そして成長」

～ひらく未来のとびら・やっぱPTAっしゃ～



シンボルマーク

2021.8.21 土

【時間】13時開始 16時50分終了予定

【会場】北九州国際会議場（オンライン）

【参加者】全国小・中学校PTA会員及び関係者

【参加人数】8,000人

オンライン開催



シンボルマーク

北九州で有名な「小倉城」「かしわうどん」「河内藤園」「合馬のたけのこ」を描きました。時代が変化する中で、このようなものが消えずに、残って欲しいと思いこのようなデザインになりました。

デザイン原画

山 崎 彩 乃 北九州市立守恒中学校 2年（令和2年度）



目 次

大会スローガン	1
概要	2
タイムスケジュール	3
PTAの歌	4
ごあいさつ	5
祝辞	7
北九州大会テーマ会	11
トークセッション	12
公益社団法人 日本PTA全国協議会の運営組織	16
日本PTA全国研究大会開催地一覧	17
北九州大会実行委員会組織図	18
山形県大会のご案内	20
編集後記	22
協賛広告	23

北九州大会からのお願い

本大会における会場内の写真撮影、VTR撮影および録音は、一切禁止です。

ご理解、ご協力ををお願い致します。

大会記録誌作成のため、本大会内容を主催者が写真撮影、ビデオ撮影、録音し、大会記録誌に掲載する予定です。

予めご了承ください。

第69回

日本PTA全国研究大会

第66回日本PTA九州ブロック研究大会

北九州大会

「じりつ、創造、尊重、調和、そして成長」

～ひらく未来のとびら・やっぱPTAっしゃ～



シンボルマーク

主 催 公益社団法人日本PTA全国協議会 九州ブロックPTA協議会 一般社団法人北九州市PTA協議会

後援 文部科学省 全国都道府県教育委員会連合会 全国連合小学校長会 全日本中学校長会 全国公立学校教頭会 福岡県
福岡県教育委員会 北九州市 北九州市教育委員会 福岡県小学校長会 福岡県中学校長会 福岡県特別支援学校長会
北九州市小学校長会 北九州市中学校長会 北九州市特別支援学校長会 一般社団法人全国高等学校PTA連合会
福岡県公立高等学校PTA連合会 全国国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会 全国国立大学附属学校PTA連合会
公益社団法人日本教育会 一般財団法人福岡県教職員互助会 一般社団法人北九州市教職員互助会
BP(いじめ防止支援)プロジェクト構成大学(上越教育大学 鳴門教育大学 宮城教育大学 福岡教育大学)

北九州大会開催概要

大会趣旨

私たちを取り巻く環境は日々目まぐるしく変化しています。さらに昨今は新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、新しい生活様式を求められるなど、誰も想像しなかった環境の中に臨むこととなりました。

しかし、今後どのような環境の変化が訪れたとしてもその中で子どもたちは成長し続けています。その時々に柔軟に対応するには生きる力を身に付けること、そして心身の成長と自立のため、家庭、学校、地域が一緒になって積極的に子育てをおこなっていく共育が更に重要になります。

これまで全国大会は、昭和28年（1953年）に第1回の大会が三重県宇治山田にて開催されて以降、一昨年の兵庫大会まで毎年途切れることなく開催されてきました。毎年各地で開催される全国大会は、会員に対する大きな成果を生み出し、家庭、学校、地域にポジティブな変化を起こしてきましたが、昨年の富山大会は新型コロナウイルス感染症の影響を受け止む無く中止となりました。このような状況下で開催する本大会は、参加される会員の皆様にとって、PTA活動への更なる意識の高揚と、各地域が抱える様々な問題を解決するための鍵を見つける絶好の機会ととらえています。コロナ禍において多くの事業が中止をされている困難な状況の中であっても、私たちが学びの歩みを止めるわけにはいかないのです。

明治維新以降、日本の多くの産業がこの地で生まれ、その後深刻な公害問題など様々な困難を経験し、現在では世界に羽ばたく環境未来都市となった北九州市。2018年6月にSDGs（持続可能な開発目標）未来都市に指定され、気持ちも新たに、家庭、学校、地域が一体となり、SDGsの理念である「誰一人取り残さない」という思いを共有し、日々の活動に取り組んでいるところです。

その北九州市にて開催される本大会で、「じりつ」、「創造」、「尊重」、「調和」から生まれる素晴らしい未来をめざして、私たちPTAは学び合い、語り合って協働し、心から笑い合い、成長し続けるPTA活動に挑戦していきましょう。

昨年度、中止になった富山大会の熱い想いを引き継ぎ大人の学びを実践し、北九州市から日本全国へ、笑顔とエールを発信します。

※「じりつ」とは=自分を立たせ（自立）、律する（自律）人間をめざす。

※「共育」とは=ともに学び成長すること

大会スローガン

「じりつ、創造、尊重、調和、そして成長」

～ひらく未来のとびら・やっぱPTAっしゃ～

メインテーマ

- 一人ひとりに寄り添い誰一人取り残さないPTA活動
- どんなときも「歩みを止めず進み続ける」PTA活動
- 未来を見据え、次世代に伝えつなげるPTA活動

期日・会場

●全体会：8月21日（土） 北九州国際会議場

大会日程

●8月21日（土）

11:30	12:15	13:00	14:00	16:35	16:50
受付 受付	九州ブロック大会	全 体 会	記念講演 (トークセッション)	閉会行事	

参加予定人数

全国小・中学校PTA会員及び教育関係者8,000人

参加費

一人 2,000円

※ 参加費は1日での金額です。

※ 大会の一部または全部に不参加の場合でも参加費の返金はいたしません。



全体会タイムスケジュール

第69回日本PTA全国研究大会 北九州大会

第66回日本PTA九州ブロック研究大会 北九州大会

北九州国際会議場【オンライン】 令和3年8月21日(土)

11:30 オンライン受付開始

12:15 第66回日本PTA九州ブロック研究大会

北九州大会 セレモニー

舞台転換

13:00 第69回日本PTA全国研究大会

北九州大会 セレモニー

14:00 記念講演

●トークセッション

「子どもの生きる力を育む学校教育とは」

●スペシャルトークセッション①

「子どもの生きる力を育む子育てとは」

●テーマ会ダイジェストVTR

●スペシャルトークセッション②

「令和新時代におけるPTA活動の可能性と未来像について」

16:30 講演終了

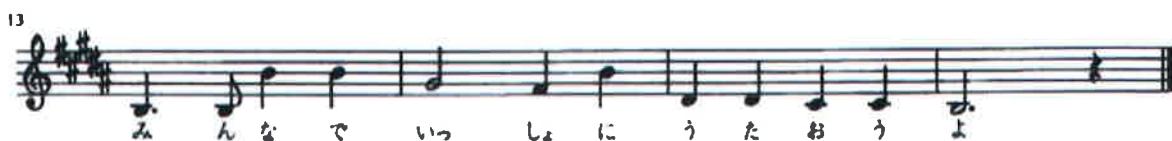
舞台転換

16:35 大会宣言文・決議

16:50 大会閉会 オンライン終了

PTAの歌

春日紅路・作詞／西條八十・補作詞／古間裕而・作曲／宮本 一・編曲



4. 世界を結んだ 大空に
ひびいて子どもの 胸が鳴る
あしたの鐘よ タベの鐘よ
平和で住みよい 日本を
みんなでいつしょに つくろうよ

3. あふれる力に 健康に
子どもがよんてる おどつてる
みのりの秋よ もみじの丘よ
こころも楽しいハイキング
子どもといっしょに おどろうよ

2. みどりに輝く 学校が
明るい家庭を よんでいる
希望の町よ 希望の村よ
文化の光に 手をのべて
子どもといっしょに 進もうよ

1. 春風そよそよ 吹く窓に
小鳥もくるくる とんで来る
明るい窓よ ほほえむ顔よ
さくらの花咲く 春の唄
みんなでいつしょに うたおうよ



ごあいさつ



公益社団法人日本PTA全国協議会 会長

清水 敬介

平素より、公益社団法人日本PTA全国協議会の活動に、多大なるご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。併せて子どもたちの健全育成にご尽力を頂いておりますことに心より感謝申し上げます。

日本PTA全国協議会では、全国を9つに分けた各ブロックが毎年持ち回りで研究大会を実施しております。今日の教育課題の改善を図るために、家庭教育をはじめ、学校教育、地域の教育力の発信と活用の場として諸活動に力を入れております。

さてこのたび、第69回日本PTA全国研究大会北九州大会が、『「じりつ、創造、尊重、調和、そして成長」～ひらこう未来のとびら・やっぱPTAっちゃ～』の大会スローガンのもと、全国から多くの会員の皆様や教育関係の皆様のリモート参加において開催されます。

新型コロナウイルス感染症が依然猛威を振るう中、開催について議論に議論を重ね、実行委員会の皆様はじめ多くの関係者の方々に大変なご苦労をおかけし、本日に至りました。「学びを止めない」という北九州市PTA協議会の皆様の強い想いに、昨年度の第68回全国研究大会富山大会の中止に涙を飲んだ富山県PTA連合会の皆様の想いが重なり、今大会開催に向けての原動力となったように感じています。

大会内容は、従来のような2日間に渡る分科会・全体会という形ではなく1日のみとし、また参加においては最終的にオンラインでの開催となりました。安心で安全な大会運営を目指し、多くの制約の中での連絡の不徹底やご案内もままならず、ご心配をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

コロナ禍において、子ども達の学びの環境も、全国のPTA活動も、従来とは異なる環境となり、多くの方が様々に苦慮されていることと推察します。

日本PTA全国協議会としましても、令和3年度は昨年度の経験を踏まえつつ例年とは違う形での活動を

余儀なくされております。このような事態だからこそ、広く会員の皆様からご意見を頂戴できるよう模索しながら、今後も文部科学省をはじめ教育関係団体との連携を更に深め有益な情報を提供できるよう、努めてまいります。

日本最大の社会教育関係団体として、全国の会員の皆様の為、そして大切な子どもたちの未来のために引き続き邁進いたします。

最後になりますが、今大会の開催にあたり多大なるご尽力をいただきました、九州ブロック協議会をはじめ、主管である北九州市PTA協議会の皆様に厚く御礼申し上げます。

大会テーマにあります、『一人ひとりに寄り添い誰一人取り残さないPTA活動』『どんなときも「歩みを止めず進み続ける」PTA活動』『未来を見据え、次世代に伝えつなげるPTA活動』という呼びかけに、多くの方の心がつながり、今後ますますのご活躍につながりますことと、この大会に関わっていただいた全ての方々のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げ、あいさつとさせていただきます。

ごあいさつ



九州ブロックPTA協議会 会長
第69回日本PTA全国研究大会北九州大会 実行委員長

三浦 隆史

第69回日本PTA全国研究大会 第66回九州ブロック研究大会が、九州の玄関口に位置し、玄界灘や日本有数のカルスト台地平尾台、新日本三大夜景の展望を誇る皿倉山など、豊かな自然に囲まれた人口約93万人の政令指定都市北九州市において開催できることを心より感謝申し上げます。

さて、近年のグローバル化により激変する予測困難な社会、虐待や不登校、SNSによる誹謗中傷、いじめ、自殺、登下校中の交通事故等、子どもたちを取り巻く環境は常に厳しい状況です。さらに、新学習指導要領、GIGAスクール構想、部活動の問題など、多くの今日的課題の解決に向けて対応していく必要があります。これらの課題の解決は学校だけでは不可能であり、私たちPTAの役割は更に大きくなっています。

GIGAスクール構想では、ICT環境の整備及び活用が推し進められ、一人一台タブレット端末を活用した授業は前例でスタートしました。突然の一斉休校となった令和2年のことを思うと、せめてもの救いのように感じられます。我々大人もオンラインでの会議が当たり前となり、本大会もWEBを活用したテーマ会事前収録や、子ども、教員、保護者が考える「生きる」をテーマにメイン会スペシャルトークセッションを実施します。感染予防対策には細心の注意を払って安全を確保し、全国の会員皆様がどこからでも参加（視聴）し、研修の機会を確保することができる大会を目指して、日本PTA全国研究大会としては初めてのオンライン開催となりました。

昨年度より本格実施になりました新学習指導要領には「これからの中学校が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、自ら行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。そして、明るい未来を、共に創っていきたい」と改定に込められた思いが書かれています。

新型コロナウイルスの影響で予測困難な状況の中、私たちPTA（大人）が学びの歩みを止めることなく、子どもたちに前向きな姿勢を示すことは、何より大切なことではないでしょうか。1日も早く感染拡大が収束に向かい、全国の子どもたちが安心して「家庭教育」「学校教育」を受けられる環境が途切れることのないよう願っております。

本大会は「じりつ、創造、尊重、調和、そして成長～ひらく未来のとびら、やっぱPTAっちゃ～」をスローガンとしました。私たちは、社会情勢の変化に真正面から向き合い、「必要とされるこれからのPTA」を模索しながら目指し、学校、家庭、地域の架け橋となって、子どもたちが未来に向か、安心していろいろなことに挑戦出来る環境つくりを構築しなくてはなりません。「子どもは国の宝である」「人づくりは国づくり」であることを改めて肝に銘じ、本大会での学びが、各学校のPTA活動に生かされることを期待しています。

昨年度の第68回日本PTA全国研究大会富山大会と第65回九州ブロック研究大会熊本大会は、コロナウイルス感染症拡大防止の為に、残念ながら中止となりました。富山大会実行委員会と熊本大会実行委員会の思いを、北九州から次期開催地である全国研究大会山形県と九州ブロック研究大会沖縄県へ繋ぐことが出来ることを感慨深く思います。

結びになりますが、第69回日本PTA全国研究大会第66回九州ブロック研究大会北九州大会に参加いただく8,000人を超える皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げますとともに、開催にあたり、多大なるご支援とご協力いただきました公益社団法人日本PTA全国協議会、九州ブロックPTA協議会、北九州市教育委員会や、多くの関係者の皆様には、心から敬意と感謝を申し上げます。

祝　辞



福岡県知事

服　部　誠太郎

第69回日本PTA全国研究大会北九州大会がここ福岡県北九州市で開催されますことを心からお喜び申し上げますとともに、オンラインで全国からご参加いただいております皆さまを心から歓迎いたします。

PTAの皆さまにおかれましては、日頃から、未来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、各地域において教育活動の支援をはじめ教育環境の整備や家庭の教育力向上など、さまざまな活動を積極的に展開しておられます。子どもたちの健全育成に多大なるご尽力、ご貢献をいただいておりますことに対しまして、深く敬意を表します。

さて、昨今、少子高齢化の進行に伴う人口構造の変化やデジタル化の急速な進展など、劇的に変化する社会に対応するため、これから地域社会を支える「人づくり」が求められています。

このような中、県では、「福岡県青少年健全育成総合計画（福岡県青少年プラン）」に基づき、家庭、学校、地域、企業、行政のそれぞれが責任を果たしながら連携し、社会全体で「豊かな心と志を持ったたくましい青少年」の育成を目指し取り組んでいます。

地域社会の未来を支えていくのは「人」であり、人こそが「宝」です。次代を担う「人財」の育成が大変重要であり、産業、スポーツ、文化・芸術などさまざまな分野を支えていく人を育てていく必要があります。そのためには、充実した教育環境を整え、その上で、子どもたちが自らの可能性に気づき、その能力を磨き、大きく羽ばたいていくチャレンジを応援していきます。

本県としましても、大会スローガン「じりつ、創造、尊重、調和、そして成長」のもと、テーマ別に議論を深め、学びを実践することは大変意義深いことと考えております。本大会にご参加の皆さまがPTA活動のヒントや新たな可能性を見つけ、今後のPTA活動がますます充実・発展していきますことを大いに期待しております。

今回の北九州大会は、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン形式による開催となり、皆さんに本県の魅力を堪能していただくことができず、大変残念です。10月には、北九州市で体操と新体操の世界選手権大会が、史上初めて同時期に開催されます。また改めて来福いただき、本県の魅力ある特産品や豊かな自然、人情溢れる人々と交流していただきたいと思います。

結びに当たり、日本PTA全国協議会ならびに北九州市PTA協議会の今後ますますのご発展と会員の皆さまのより一層のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝　辞



北九州市長

北 橋 健 治

第69回日本PTA全国研究大会北九州大会・第66回日本PTA九州ブロック研究大会北九州大会の開催を、心よりお祝い申し上げます。全国各地からご参加いただきましたPTA会員の皆様を、開催市を代表いたしまして、心から歓迎申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症の大きな影響を受ける中、大会の開催にあたりご尽力いただきました関係の皆様に厚くお礼申し上げます。

PTA会員の皆様におかれましても、感染症の影響が長期化し、PTA活動も多くの制約を受ける中、子どもたちの健全育成や、家庭と地域の教育力向上のためにご尽力いただいておりますことに、深く敬意を表します。

さて、本市では、「世界の環境首都」を目指した環境国際協力や資源循環型社会づくりへの取組等を活かし、SDGsを積極的に推進しています。取組を進める中で、平成30年4月に、経済協力開発機構（OECD）より、アジア地域で初めて「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に、同年6月には、国からSDGsに先進的に取り組む自治体として「SDGs未来都市」に選定されました。これからも、SDGsの推進を通してシビックプライドを醸成し、市民生活の質や都市ブランド力を高めることで、さらに住みよいまちとなるよう努めてまいります。このような取組により、子どもたちが健やかに育ち、郷土・北九州への愛着をもち続けてくれるようになることが、私たちの強い願いでもあります。

子どもたちの育ちについては、近年、少子化や核家族化、地域での人間関係の希薄化が進み、その影響が懸念されています。子どもの貧困対策、虐待の防止、スマートフォン・携帯電話との付き合い方等、新たな課題も顕在化してきています。このような課題を解決していくためには、学校・家庭・地域が一体となって子育てに取り組んでいくことが大切であり、学校と家庭、地域をつなぐPTAの役割は、今後ますます重要になっていくと考えます。

本市では、令和元年5月に「北九州市教育大綱」を策定し、重点的な施策の一つとして、「家庭・地域・学校の連携」を掲げ、子どもたちを取り巻く課題に対する家庭への働きかけや連携、地域の企業や団体等との協働など、市民総ぐるみで子どもたちを支援する取組を進めています。

本大会におきましても、大会スローガン「じりつ、創造、尊重、調和、そして成長」～ひらこう未来のとびら・やっぱPTAっちゃんのもと、ご参加の皆様が、様々な課題について活発な議論を行い、その成果を各地の家庭や地域に広げ、子どもたちの健やかな成長につなげていただければと思っております。

結びに、本大会のご成功と、公益社団法人日本PTA全国協議会の今後ますますのご発展、並びにご参加の皆様のご健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝　辞



北九州市議会議長

鷹木 研一郎

全国各地から多くのPTA会員の皆様が参加され、第69回日本PTA全国研究大会北九州大会・第66回日本PTA九州ブロック研究大会北九州大会が開催されますことを、北九州市議会を代表いたしまして、心からお祝い申し上げます。新型コロナウイルス感染症の甚大な影響を受ける中、様々な感染防止対策を行い、大会を開催に導かれた関係の皆様には、深く敬意を表します。

本市は、昭和38年に、門司市、小倉市、若松市、八幡市、戸畠市の五市が合併した、九州初の政令指定都市です。九州の最北端に位置する国際産業貿易都市であり、アジア諸国に近いというロケーションを活かし、日本の四大工業地帯のひとつとして近代化を支えてきた歴史があります。深刻な公害に苦しんだ時期もありましたが、それを乗り越え、現在は、「SDGs未来都市のトップランナー」を目指すまちです。また、子育て支援やシニアライフ支援、物価の安さ、充実した医療支援などが高く評価されている、住みよいまちです。長く美しい海岸線や緑豊かな山々など、自然に恵まれたまちでもあります。

さて、PTA活動は、児童生徒の健全な成長を図ることを目的とし、保護者と教職員が協力して、学校教育や家庭教育の充実・改善を行うものです。PTA会員の皆様におかれましては、日頃から、子どもたちの健やかな成長のために、様々な活動に取り組んでいただき、心から感謝申し上げます。

子どもたちは、国の宝であり、地域の宝です。その子どもたちが、これから変化の激しい時代においても、夢や希望をもち、心豊かに成長できるような環境を整えていくことは、我々大人の責務であります。昨今は、少子化や核家族化、子どもの貧困、いじめや不登校の問題等、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化しております。社会全体で子どもたちを支えていくことが求められています。そのためには、学校・家庭・地域が連携して、子どもたちの教育に取り組んでいくことが、ますます重要になっており、連携の要であるPTAには大きな期待が寄せられています。

このような中、PTA活動に関わる皆様が全国から参加され、今日的な教育課題等について情報を共有し、議論を交わされることは、大変意義あることであり、心強く感じております。そして、参加された皆様が、本研究大会の成果を活かし、各地でより効果的なPTA活動に取り組んでいただくことを願っております。

本市議会をいたしましても、市民の皆様とともに、未来を託す子どもたちを安心して育てていくことができる教育環境の整備や地域づくりに、これからも積極的に取り組んでまいりますので、各地からご参加の皆様方も引き続きご尽力賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、公益社団法人日本PTA全国協議会をはじめ各地の協議会のさらなるご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝　辞



北九州市教育委員会 教育長

田 島 裕 美

第69回日本PTA全国研究大会北九州大会・第66回日本PTA九州ブロック研究大会北九州大会が、志を同じくする多くの皆様のご参加のもと開催されますことを、北九州市教育委員会を代表いたしまして、心からお祝い申し上げます。

また、皆様方におかれましては、子どもたちの健やかな成長のため、日々、PTA活動にご尽力いただいておりますことに、深く敬意を表します。新型コロナウイルス感染症の深刻な影響が続く中、本市では、市内各学校のPTAの皆様から、子どもたちを感染症から守るために、多大なご支援・ご協力を賜りました。全国各地におかれましても、PTAの皆様の、様々なご支援・ご協力があったことと拝察いたします。学校現場においても、感染防止は極めて重要な課題であり、PTAの皆様のお力添えに、心から感謝申し上げます。

さて、人口減少・高齢化、AI等の急速な技術革新、グローバル化など、私たちを取り巻く社会環境は大きく変化しています。社会変化のスピードが速まる中、子どもたちに、新しい時代を切り拓いていくことができる力を育んでいくことが大切です。いじめや長期欠席への対応、児童虐待防止等、一人一人に寄り添った対応も、より重要になっています。

そのため、本市教育委員会では、令和元年8月に、「第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」を策定し、超スマート社会を見据えた教育の情報化やグローバル化に対応する英語教育の充実、低年齢化、複雑化する生徒指導上の課題へのきめ細かな対応等の取組を進めています。

また、本市は平成30年6月に、国から「SDGs未来都市」に選ばれ、全市をあげてSDGsに取り組んでおり、同教育プランにおいても、SDGsの理念である「誰一人取り残さない」教育を推進するとともに、「シビックプライド（まちへの愛着）」の醸成に努めているところです。

未来を担う子どもたちが、たくましく、心豊かに成長していくことは、保護者の皆様はもちろんのこと、地域全体の強い願いです。この願いを実現するには、学校と家庭、地域、そして行政が互いに信頼関係を築き、それぞれの役割を果たしながら、子どもたちを支え、育てていかなければなりません。PTAの皆様は、それらの連携の中核を担われており、子どもたちのために、これからもお力添えを賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

本研究大会におきましては、子どもたちに「生きる力」を育む子育てや、今後のPTA活動の可能性等について、議論がなされるとうかがっております。活発で有意義な意見交換がなされ、その成果が、子どもたちの輝く笑顔と健やかな成長につながることを、願っております。

結びに、コロナ禍という状況の中、本研究大会の開催に向けて、ご尽力いただきました公益社団法人日本PTA全国協議会をはじめ、関係の皆様に感謝申し上げますとともに、本研究大会のご成功、そして、会員の皆様のますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



北九州大会テーマ会（事前収録）

前回まで全国研究大会で行われてきた「分科会」ですが、今回の北九州大会では、討論会形式を採用することで、新たに「テーマ会」という名称を用いて大会準備を進めてきました。

これまでの「分科会」の多くは、実践例の提示や専門的な講義など、一方向からの情報提供によるものでしたが、今回の「テーマ会」は、以下に紹介する「教育のICT化」「子どもたちの夢」「保護者・PTA」という3つのテーマについて、様々な意見や考え方を引き出します。そして、子どもたちに「生きる」ということをどのように伝えていくのか、これからPTAはどうあるべきなのかについて、本大会の「トークセッション」につなげることを目的とし、事前にテーマごとの討論会を実施しています。同じ時間に、そして同じ場所で集まることができない今だからこそ、討論のテーマを絞り、時間をかけることでより討論を深めていきたいと考えます。

また、この事前討論会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、すべてオンラインによる収録を行いました。Web会議システムを用いた討論会の形も、コロナウイルスのまん延により始まった、討論会の新しいスタイルです。

第一テーマ会～教育のICT化～

文部科学省が推進するGIGAスクール構想を受け、北九州市内の公立小中学校においても、教育のICT化が急ピッチで進められています。本市の先進的な取組事例を紹介するとともに、現場にいなくても先生と生徒がつながることができるICT機器の活用例など、全国のたくさんの先生方と、情報交換や討論を行います。

子どもたちが、直接「発表する」という形をとることなく意見を出すことが可能なICT機器を活用することで、教室全員の思いの「違い」に気付き、他者との相互理解を深める。そして、より豊かな教室（教育環境）を作るためには、これからどのようにしてICT機器と寄り添っていけばいいのか、講師を招いて討論を進めます。

第二テーマ会～子どもたちの夢～

北九州市内のほとんどの公立小中学校には、それぞれ特別支援学級があります。今回、特別支援学級も含めた児童生徒に対し事前にアンケートを行いました。「夢は何?」という問い合わせに対し、子どもたちがどのように回答したのか?子どもたちの夢に、保護者としてどう向き合っていけばよいのか?講師を招いて討論します。

第三テーマ会～保護者・PTA～

北九州市のPTA関係者を中心に、PTA組織の支援対象である子どもたちへ行ったアンケートの結果や、特別支援学級の保護者の皆様と先生方からのご意見も参考にしながら、子どもたちと共に「生きて」行くためには?改めてPTAに求められているものは何なのか?地域を巻き込み、共に成長していくためにどうすればいいのか?を、「夢」「家庭」「PTA」「コミュニケーション」「生きる力」といったキーワードを基に考えていきます。

そして、本大会のトークセッションへ…

教育環境、子どもたちの夢、そして保護者の思い。テーマ会では、オンラインを活用して北九州市のみではなく各地からの言葉を集めました。新しいICT環境は、遠くにいても「繋がる」ことを可能にしてくれました。いろいろな言葉や意見を集約し、我々が子どもたちに「生きる」ことを伝えていくためには?そして皆が共に生きていくために、一緒に考えていきましょう。

トークセッション

令和新時代の学校教育・家庭教育・PTAとは

本大会の「トークセッション」は、事前収録したテーマ会の3つのテーマ「教育のICT化」「子どもたちの夢」「保護者・PTA」から出てきた様々な意見や考え方などを踏まえつつ、子どもの生きる力を育むための学校教育・家庭教育やPTAの未来像などについてトークセッションを展開します。また専門家や著名人をパネリストとして招き、興味と関心を高め理解を深める場といたします。

【トークセッション】

「子どもの生きる力を育む学校教育とは」

事前収録という形で、内閣府（科学技術・イノベーション推進事務局）審議官・合田哲雄さん、大阪市立大空小学校初代校長・木村泰子さん、横浜創英中学・高等学校校長／前千代田区立麹町中学校校長・工藤勇一さんといった、教育界でも注目を集める御三方による「子どもの生きる力を育む学校教育」についての教育論議を宮地勘司さんの司会によりお伝えします。

【スペシャルトークセッション①】

「子どもの生きる力を育む子育てとは」

そして、これも事前収録という形で、人気お笑いコンビEXITのお二人が、もし令和の時代の子どもたちだったらどのような生き方をするのか？

今の彼らのように、特技や個性を活かしたり、好きなことに集中したりして暮らすことができるのか？

また、昨今の子どもたちを取り巻く社会・教育環境の中で感じている問題点や課題に加え、EXITの子ども時代、特に学校での思い出などを踏まえた上で彼らが、これから先の未来の子どもたちにどんな教育を望むのか？

学校教育・家庭教育について、EXITの視点から考えていきます。

【スペシャルトークセッション②】

「令和新時代におけるPTA活動の可能性と未来像について」

大会当日のトークセッションでは、出演者に北九州市出身で歌手、俳優など多方面で活躍、また「イクメン」の代表的な存在で知られるタレントのつるの剛士さん、そして小学校PTA会長を経験された、人気DJ「レモンさん」、さらに学校法人立花学園立花高等学校齋藤真人校長等、各界の専門家や著名人をパネリストとしてお迎えし、「コロナ禍」で見えてきた学校教育の課題や未来、また、今後のオンライン教育の展開、普及で子ども達の「学び」はどう変わるのか？多様性社会に向けた教育、令和時代の教員のあるべき姿、そして今後のPTA活動において取りくむべき課題や、PTAの持続可能性など「学校教育・家庭教育・PTAの今後」について議論を展開します。



パネリスト紹介

●トークセッション



合田 哲雄 氏

内閣府（科学技術・イノベーション推進事務局）審議官。1992年旧文部省に入省。

福岡県教育庁高校教育課長（2000年）、国立大学法人化（2004年）や学習指導要領改訂（2008年）の担当、NFS（全米科学財団）フェロー（2011年）、高等教育局企画官（2012年）、研究振興局学術研究助成課長（2013年）、初等中等教育局教育課程課長（2015年）、内閣官房内閣参事官（2017年）を経て、2018年から現職。目黒区内の区立小・中学校のPTA会長を6年経験。



木村 泰子 氏

大阪府生まれ。

2006年に開校した大阪市立大空小学校の初代校長を9年間務める。

大空小学校では「すべての子どもの学習権を保障する」という理念のもと、教職員や地域の人たちとともに障害の有無にかかわらず、すべての子どもがいつもいっしょに学び合っている。2015年には大空小学校の1年間を追ったドキュメンタリー映画「みんなの学校」が公開され、大きな反響を呼んだ。この映画は文部科学省の特別選定作品にも選ばれ、現在も全国各地の教育現場などで自主上映されている。2015年春に、45年間の教員生活を終え、現在は講演やセミナーで全国の人たちと学び合っている。

【著書】

学校の未来はここから始まる（教育開発研究社）／「ほんとのこと」は親には言えない（家の光社）／「見えない学力」の育て方（青春出版）／「ふつうの子」なんて、どこにもいない（家の光協会）／「みんなの学校」が教えてくれたこと（小学館）／「みんなの学校」をつくるために（小学館）／「みんなの学校」から「みんなの社会」へ（岩波ブックレット）／「みんなの学校」から社会を変える（小学館）／21世紀を生きる力（水玉舎）／「みんなの学校」流 自ら学ぶ子の育て方（小学館）／タテマエ抜きの教育論（小学館）



工藤 勇一 氏

学校法人堀井学園 横浜創英中学・高等学校 校長（2020年4月から現職）

東京理科大学理学部応用数学科卒業、公立学校教員、東京都教育委員会、新宿区教育委員会教育指導課長、千代田区立麹町中学校校長（2014年4月～2020年3月）

麹町中学校在職中、学校運営に全教職員、生徒・保護者を当事者として巻き込みながら、形骸化した教育活動をスクラップし、再構築した。宿題や定期考査の全廃、固定担任制の廃止、服装頭髪指導の廃止などを行う。

内閣官房教育再生実行会議委員

経済産業省「未来の教室とEdTech」研究会委員

【主な著書】

学校の「当たり前」をやめた。一生徒も教師も変わる！（時事通信社）／麹町中学校の型破り校長 非常識な教え（SB新書）／麹町中学校長が教える 子どもが生きる力をつけるために親ができること（かんき出版）／きみを強くする50のことば（かんき出版）／学校の未来はここから始まる 学校を変える、本気の教育論議（共著 教育開発研究所）／最新の脳研究でわかった！自律する子の育て方（共著 SB新書）

●スペシャルトークセッション①



EXIT

お笑いコンビ

2017年12月コンビを結成。2018年7月に出演した「ゴッドタン」をきっかけに注目を集め、同年11月には吉本興業所属芸人で最速となる結成11か月でルミネtheよしもとの単独ライブを開催。2019年には全国ツアーおよびバシフィコ横浜での単独ライブを成功させている。地上波番組でMCを務める一方で、アパレルブランド「EXIEEE」のプロデュース、オフィシャルファンクラブ「entrance」のオープンなど芸人の枠に留まらない活躍を見せている。

●スペシャルトークセッション②



つるの 剛士 氏

福岡県北九州市出身

「ウルトラマンダイナ」のアスカ隊員役を熱演した後、2008年に“羞恥心”を結成しリーダーとして活躍。一躍時の人として人気を博す。

将棋・釣り・楽器、サーフィン・バイクなど趣味も幅広く、好きになったらとことんやらなければ気が済まない多彩な才能の持ち主。

二男三女の父親



レモンさん (山本 シュウ) 氏

ラジオDJ

TBSラジオの『全国こども電話相談室・リアル!』、NHK Eテレの『きらっといきる』、ニコニコ動画の『ミュージックポンバー』などの番組に出演している。合言葉は「We are シンセキ!」。

教育関係にも造詣が深く、自らの子どもが通う小学校で、大きなレモンの被り物をし、「レモンさん」というキャラクターで、PTA会長を5年間務めた。その後もPTA顧問を続けている。そのほかに、山梨英和大学、大阪大学の非常勤講師も務めている。



齋藤 真人 氏 (立花高等学校校長兼理事長)

福岡県私学協会副会長。

文部科学省「不登校に関する調査研究協力者会議」委員。

1990年に宮崎大学教育学部を卒業後、宮崎県の公立中学校の音楽教諭を14年間勤めた。2004年に教頭として橋高等学校へ赴任。2006年から同校の校長に就任。

「できないことを嘆くより、できていることを認め合う」というモットーを大切に、学校と生徒たちの新しい可能性を広げている。

不登校自立支援の教育方針が注目を集めるに従い、心のよりどころを求める保護者や生徒たちから大きく支持されている。現在多くの自治体や教育関係者等の講演依頼にこたえ「いいんだよ」の共感的理解の大切さを精力的に説いて回っており、その数は年間100を超える。



東川 勝哉 氏

公益社団法人日本PTA全国協議会顧問

第10期中央教育審議会委員。

中央教育審議会初等中等教育分科会学校における働き方改革特別会前委員など兼任。

2013年公益社団法人日本PTA全国協議会理事、以降、同副会長、専務理事を経て、2017年6月より会長就任2年間。

1968年生まれ。

2007年よりPTA活動に参加。

2013年長崎県PTA連合会会长（4年間）。



村上 綾野 氏

NPO法人HUG for ALL代表理事。

京都府出身。神戸大学発達科学部卒業。二度の転職を経て2004年に株式会社ベネッセコーポレーションに入社し、教育事業や新規事業開発を担当。日本元気塾第3期、第4期生。ティーチャーズイニシアティブ2期生。2012年頃に児童養護施設の高校生の進学支援のボランティアをはじめたことがきっかけで、2016年にHUG for ALLを立ち上げ、現在に至る。

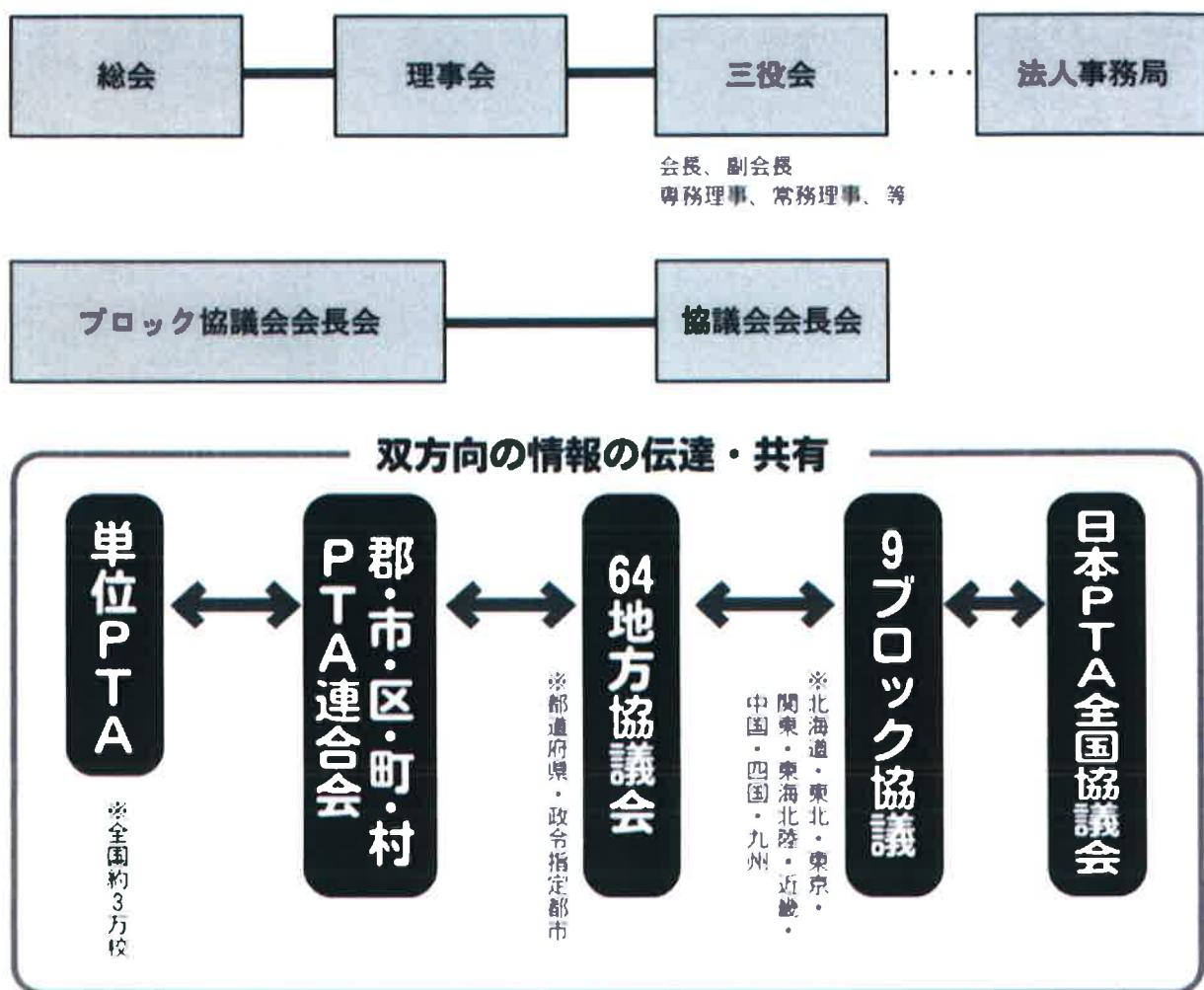


河村 信孝 氏

北九州市立子ども図書館長

北九州市立小学校教員として入職（1984年）、市内の小学校4校で学級担任を16年し、9度卒業生を送り出す。北九州市立玄海青年の家指導主事（2002年）、北九州市教育委員会指導第一課指導主事（2005年）、北九州市立黒畑小学校教頭（2008年）、同校校長（2009年）、北九州市教育委員会教育課程担当課長（2012年）、北九州市立花尾小学校校長（2015年）北九州市教育委員会学力・体力向上推進室長（2017年）、指導部長（2019年）、2020年に定年退職し、現職。

公益社団法人 日本PTA全国協議会の運営組織



ブロックPTA協議会

ブロックPTA協議会の名称	地方協議会 (都道府県・政令指定都市)
北海道ブロックPTA協議会	北海道、札幌市
東北ブロックPTA協議会	青森県、岩手県、宮城県、仙台市、秋田県、山形県、福島県
東京ブロックPTA協議会	東京都
関東ブロックPTA協議会	新潟県、新潟市、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、さいたま市、千葉県、千葉市、神奈川県、川崎市、横浜市、相模原市、山梨県、長野県、静岡県
東海北陸ブロックPTA協議会	愛知県、名古屋市、三重県、岐阜県、富山県、石川県、福井県
近畿ブロックPTA協議会	滋賀県、京都府、京都市、大阪府、大阪市、兵庫県、神戸市、奈良県、和歌山县
中国ブロックPTA協議会	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、広島市、山口県
四国ブロックPTA協議会	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州ブロックPTA協議会	福岡県、北九州市、福岡市、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、熊本市、宮崎県、鹿児島県、沖縄県



日本PTA全国研究大会開催地一覧

回	開催県・市	開催年月日	開催地	ブロック名
1	三重県	昭28. 8.29~31	宇治山田市	東海・北陸
2	富山県	29. 5.15~16	富山市	東海・北陸
3	静岡県	30. 1.29~30	熱海市	関東
4	奈良県	31. 11.28~29	橿原市	近畿
5	愛媛県	32. 11.26~27	松山市	四国
6	北海道	33. 7.26~27	小樽市	北海道
7	山口県	34. 10.25~26	宇部市	中国
8	福岡県	35. 6. 9~10	福岡市	九州
9	新潟県	36. 9.15~16	新潟市	関東
10	神奈川県	37. 11.18~19	平塚市	関東
11	岡山県	38. 10.24~25	岡山市	中国
12	東京都	39. 8.18~19	東京都台東区	東京
13	東京都	40. 11.28~29	東京都渋谷区	東京
14	静岡県	41. 11.15~16	熱海市	関東
15	長野県	42. 8.22~23	長野市	関東
16	福島県	43. 8. 8~ 9	福島市	東北
17	北海道	44. 8. 7~ 8	札幌市	北海道
18	鹿児島県	45. 11.16~17	鹿児島市	九州
19	石川県	46. 8.19~20	金沢市	東海・北陸
20	東京都	47. 8.24~25	東京都文京区	東京
21	栃木県	48. 8.24~25	宇都宮市	関東
22	福岡県	49. 8.23~24	北九州市	九州
23	香川県	50. 8.22~23	高松市	四国
24	岩手県	51. 8.20~21	盛岡市	東北
25	北海道	52. 8.26~27	札幌市	北海道
26	山口県	53. 8. 7~ 8	山口市	中国
27	福井県	54. 8. 3~ 4	福井市	東海・北陸
28	大分県	55. 8.21~22	大分市	九州
29	和歌山县	56. 8.25~26	和歌山市	近畿
30	東京都	57. 8.25~26	東京都	東京
31	徳島県	58. 8.29~30	徳島市	四国
32	青森県	59. 8.24~25	青森市	東北
33	横浜市	60. 8.29~30	横浜市	関東
34	北海道	61. 8.22~23	旭川市	北海道
35	広島県	62. 8.21~22	広島市	中国
36	岐阜県	63. 8.25~26	岐阜市	東海・北陸
37	沖縄県	平元. 8.24~25	沖縄県	九州
38	大阪府・市	2. 8.24~25	大阪府・市	近畿
39	高知県	3. 8.22~23	高知県	四国

回	開催県・市	開催年月日	開催地	ブロック名
40	群馬県	4. 8.20~21	群馬県	関東
41	山形県	5. 8.20~21	山形県	東北
42	島根県	6. 8.19~20	島根県	中国
43	札幌市	7. 8.25~26	札幌市	北海道
44	名古屋市	8. 8.23~24	名古屋市	東海・北陸
45	大分県	9.10.16~17	大分市別府市	九州
46	神戸市	10. 8.21~22	神戸市	近畿
47	愛媛県	11. 8.20~21	愛媛県	四国
48	山梨県	12. 8.25~26	山梨県	関東
49	秋田県	13. 8.31~ 9. 1	秋田県	東北
50	埼玉県	14. 8.23~24	埼玉県	関東
51	鳥取県	15. 8.29~30	鳥取県	中国
52	北海道	16. 8.27~28	旭川市	北海道
53	愛知県	17. 8.26~27	愛知県	東海・北陸
54	宮崎県	18. 8.26~27	宮崎県	九州
55	滋賀県	19. 8.24~25	滋賀県	近畿
56	香川県	20. 8.23~24	香川県	四国
57	宮城県	21. 8.21~22	宮城県	東北
58	千葉県	22. 8.27~28	千葉県・市	関東
59	広島県	23. 8.26~27	広島県	中国
60	京都府	24. 8.24~25	京都府・市	近畿
61	三重県	25. 8.23~24	伊勢市 四日市市 他	東海・北陸
62	長崎県	26. 8.22~23	長崎市	九州
63	北海道	27. 8.21~22	札幌市	北海道
64	徳島県	28. 8.20~21	徳島県	四国
65	仙台市	29. 8.25~26	仙台市	東北
66	新潟県	30. 8.24~25	新潟県・市	関東
67	兵庫県	令元. 8.23~24	兵庫県	近畿
68	富山県	2. 8.28~29	富山県	東海・北陸
69	北九州市	3. 8.21	北九州市	九州

開催案内

第70回日本PTA全国研究大会
第54回日本PTA東北ブロック研究大会

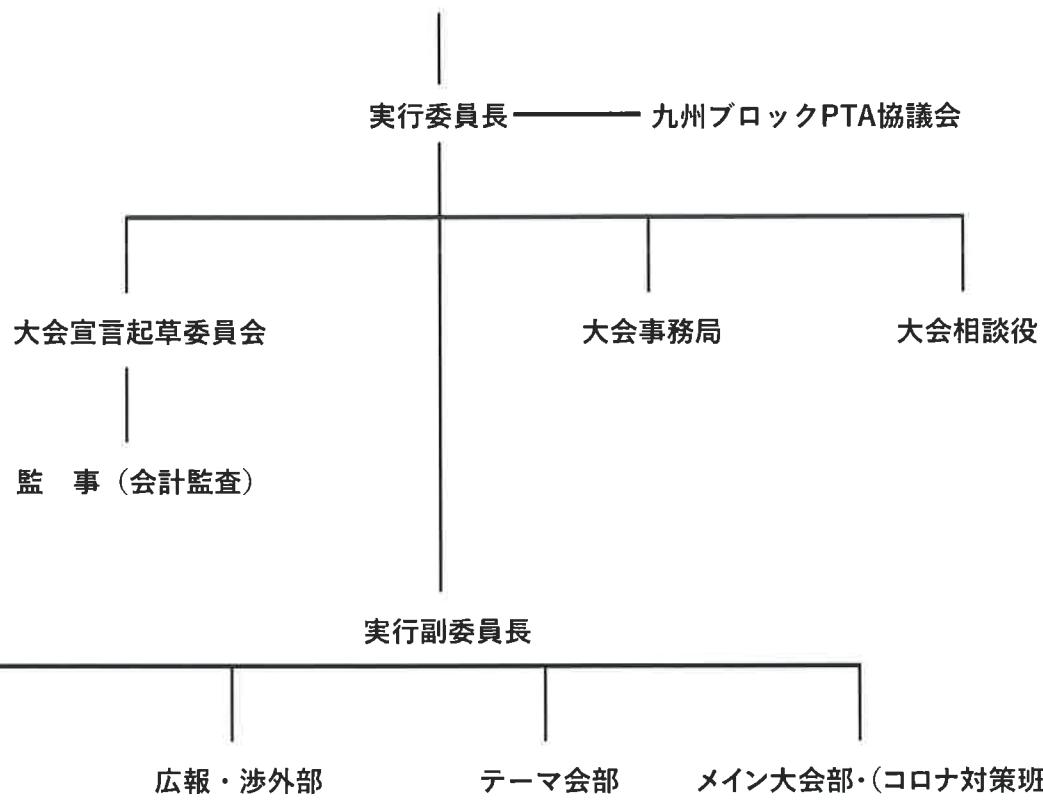
山形大会

2022年8月26日(金)~27日(土)

※8月25日(木)歓迎レセプション

日本PTA全国研究大会北九州大会 実行委員会組織図

(公社)日本PTA全国協議会



担当副委員長	担当副委員長	担当副委員長	担当副委員長	担当副委員長	担当副委員長
部長	部長	部長	部長	部長	部長
副部長	副部長	副部長	副部長	副部長	副部長
記録	記録	記録	記録	記録	記録
会計	会計	会計	会計	会計	会計



MEMO

北九州大会開催おめでとうございます

2022

分科会 8.26.金 全体会 8.27.土

第70回 日本PTA全国研究大会

第54回 日本PTA東北ブロック研究大会

山形大会



『人とひとのつながりを体感しよう！』

～あがらっしゃい精神の山形から～



主催 / 公益社団法人日本PTA全国協議会 東北ブロックPTA協議会 山形県PTA連合会



第70回 日本PTA全国研究大会山形大会 第54回 日本PTA東北ブロック研究大会山形大会

2022.8.26[金]→27[土]

● 大会趣旨

「W.I.T.（ワーキング）」に生きる。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより世界は一変し、未知のウイルスが存在することを前提とした社会に共存することとなり、誰もが好むと好まざるとにかかわらず新しい生活様式への変容を余儀なくされ、私たち大人も適応していくことが困難な時代となりました。

私たちは、人とひととの「つながり」の中で生きています。その「つながり」とは、先祖代々からのおいのちのバトンをつなぎ、「ふるさと」を愛し未来に心をつなぐこと、PTAは、家庭と学校そして地域をつなぐ大きな役割を担っています。子どもたちの健やかな成長には、家庭や学校はもとより地域とかかわり、社会性を重んじることが必要です。多くの人とひとの「つながり」があって生きる力を「まなび」のです。

「W.I.T.（ワーキング）」の時代、自由に集えないなどその「つながり」が希薄になり、気付くことすら難しい状況となっています。当たり前と感じていた「つながり」は、当たり前ではなかったことに気づかされました。PTAの目的は、より良い社会を目指し活動をしています。そのためにも子どもたちの健全育成が必要であり、さらに家庭・学校・地域のつながりをより強いものにしなければなりません。そのつながりは、削られるものではありません。私たちPTAが積極的に創っていくものです。

俳聖・松尾芭翁の「奥の細道」における山形県の出羽三山の旅は、心の旅といわれるよう、いにしえの時代から山形県は人とひとの心をつなぐ「あがらっしゃい」の精神が色濃く残るおもてなしの地であります。このおもてなしの地、山形で、そして70回目の節目を迎える本大会で、わが国最大の社会教育関係団体としての自覚と責任を持ち、すべてのPTA会員が人とひとの「つながり」の大切さを体感出来る絶好の機会を共に創りましょう。

● 大会スローガン

『人とひとのつながりを体感しよう！』

～あがらっしゃい精神の山形から～

● メインテーマ

- ・「いのち」のつながりを感じ、次代につなぐPTA活動
- ・「ふるさと」を愛し、心をつなぐPTA活動
- ・生きる力を「まなび」、次代につなぐPTA活動
- ・多様な「つながり」から、子どもたちの未来を切りひらくPTA活動

■会場<8月26日(金)>

分科会	領域	開催場所	会場
第1分科会	家庭教育	村山市	村山市民会館
第2分科会	学校教育	酒田市	酒田市民会館 希望ホール
第3分科会	地域連携	新庄市	新庄市民文化会館
第4分科会	人権教育	長井市	長井市民文化会館
第5分科会	広報活動	高畠町	高畠町文化ホールまほら
第6分科会	情報教育	米沢市	伝国の杜 置賀文化ホール
第7分科会	社会教育	鶴岡市	鶴岡市文化会館 荘銀タクト鶴岡
第8分科会	環境・安全	寒河江市	寒河江市市民文化会館
特別第1分科会	日本PTA担当	天童市	天童市市民文化会館
特別第2分科会	文部科学省協力	山形市	やまざん県民ホール

■会場<8月27日(土)>

全体会	会場	住所
メイン会場	山形市総合スポーツセンター	山形市平久保100
サテライト会場	やまざん県民ホール 酒田市民会館 希望ホール	山形市双葉町1-2-38 酒田市本町2-2-10

主催 / 公益社団法人日本PTA全国協議会 東北ブロックPTA協議会 山形県PTA連合会



編集後記

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大会初のオンライン開催となりましたが、全国の皆様をお迎えし、第69回日本PTA全国研究大会北九州大会がここ北九州の地において無事に開催できましたこと、実行委員会一同心より感謝申し上げます。

「じりつ、創造、尊重、調和、そして成長」

～ひらこう未来のとびら・やっぱPTAっぢや～

を大会スローガンに掲げ、実行委員会を中心に各スタッフが協力し準備を進めてまいりました。

過去の深刻な公害問題を克服し、世界に羽ばたく環境未来都市となった北九州市。2018年6月には、SDGs（持続可能な開発目標）未来都市に指定され、気持ちも新たに、家庭、学校、地域が一体となり、SDGsの理念である「誰一人取り残さない」という思いを共有するとともに、コロナ禍であっても、少しでも学びの「歩みを止めず、進み続ける」と言う考えのもと、実行委員会や関係者が一丸となって準備を進めて参りました。

短い期間でしたが オンライン開催にたどり着くまでの道のりは、決して平坦なものではありませんでした。しかしながら、この大会へ向けた取り組みや本大会での活発な討議は、「未来を見据え、次世代に伝えつなげるPTA活動」への第一歩となり、全国の皆様へ元気とエールを発信できたものと確信しております。

皆様には、研究・討議いただいたことをお持ち帰りいただき、今後のPTA活動に活かしていただければ幸いです。

最後に、本大会の実施計画から運営、並びに本誌制作に関わっていただいた多くの皆様に、心より感謝申し上げます。

令和3年8月
第69回日本PTA全国研究大会北九州大会
実行委員会一同

第69回日本PTA全国研究大会 第66回日本PTA九州ブロック研究大会 北九州大会 大会要項

編集責任者 第69回日本PTA全国研究大会北九州大会実行委員会

大会実行委員長 三浦 隆史

事務局 〒803-0811 北九州市小倉北区大門1-6-43

北九州市立生涯学習総合センター2F

TEL: 093-581-7268

印 刷 ヨシミ工産株式会社